

藤嶺藤沢高校だより

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1

TEL 0466-23-3150

<https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>

2023年5月15日(月)発行
(文責：高校教頭 香西 義之)

開校記念講演会

5月9日(火)に本校平成元年卒、矢後勝也(やごまさや)先輩の講演会が実施されました。矢後先輩は現在「東京大学総合研究博物館」に所属し、講師を務められています。矢後先輩は2011年80年振りに幻のチョウ「ブータンシボリアゲハ」を再発見したことで「NHKスペシャル」で取り上げられたことがあります。本校の先輩には昨年度講演頂いた



ニシダ先輩や能楽の世界で活躍する山井綱夫先輩のように芸能だけではなく、アカデミックな分野でも目を見張る活躍をしている先輩がいます。講演の内容はまだ学ランだった藤嶺藤沢での学生生活、大学卒業後鳩山邦夫の秘書から研究者になるまでの話。そして、「ブータンシボリアゲハ」再発見を含めた現在の研究内容についてでした。2時間しか寝られないことのある秘書時代の大変さ、命懸けで山道を進むブータン遠征等、矢後先輩の話は非常にドラマチックであると同時に、物事を成し遂げるまでやり抜くその意思の強さが感じられました。質疑応答は時間切れで打ち切らなければならないほど質問が続き、生徒諸君も高い関心を持って臨んでいたようです。

心と命を感じる講演会

5月12日(金)に高1高入生を対象に「心と命を感じる講演会」が実施されました。講師の篠原宏明氏は、2010年に次男真矢(まさや)君(当時14歳)を「いじめ」と「いじり」によって亡くし、その後いじめをなくす活動に従事されています。真矢君は「友だちのことをいじめから護れなかった」という内容の遺書を残して自死をしました。友人を「いじめ」から守るために自分が「いじられ役」を演じ、いじめ加害者たちの関心を友人から逸らそうとしたのです。そしてやがて「いじり」がエスカレートし真矢君は死をもっていじめ加害者たちの不当な行為を明らかにしようとしたのです。篠原さんは講演の中で「いじめ」と「いじり」は同じであること、そして「いじめ」は犯罪であることを強く生徒に訴えておられました。「いじめは肉体を傷つけるのではなく、心に傷を与え生きる力を奪っていく」という言葉も印象的でした。

今回の講演では篠原さんが涙を流しながら生徒諸君に「いじめの加害者になってはいけない」と強い言葉で訴えかける場面がありました。私は幾度か篠原さんの講演を拝聴させて頂いてますが、正直これほど熱のこもった講演は初めてでした。講演後に篠原さんと話をすると、生徒諸君があまりに熱心に聞いてくれるものだから熱いものがこみ上げてきて「この子たちには、いじめによって苦しむ経験をして欲しくない」と思ったら涙が止まらなくなった、と仰っていました。皆の真剣な眼差しが篠原さんの心を揺さぶったようです。おそらく生徒諸君も篠原さんの言葉や思いが心に刺さったことと思います。その思いを胸に、誰もが安全・安心して学園生活を送れる環境を皆で作って行きましょう。

4年ぶり「校内勉強合宿」

いよいよ16日から中間テストが始まります。高校1年生にとっては高校での初めての定期試験ということになります。是非とも日頃の学習の成果を発揮して欲しいと思います。

さて、先週その中間試験に向けた英語の「校内勉強合宿」が4年ぶりに行われました。抽選になるほど希望者が集まり1年生27名、2年生13名で実施されました。コロナ禍のなか昨年度までも「勉強会」という形で19時まで学習を行うイベントを実施していましたが、勉強合宿となれば22時近くまで学習をします。生徒の様子も学校に泊まるとなると何かが違うのか、テンション高めで積極的に授業に参加している姿が印象的でした。勉強合宿は今年度7月（葉山）と1月（校内）に用意されています。今回参加できなかった諸君もぜひ次回トライして欲しいと思います。

【5月の主な行事予定】

1	月	第1回全統共通テスト模試(高3), 心と命を感じる講演会(高1高入生)	高1・2 春期 勉強合宿
9	火	開校記念講演会	
10	水	探究講義③(高2)	
11	木	教育実習打ち合わせ	
12	金	いじめ防止講演会(高1・D E F)	
16	火	中間試験①	
17	水	中間試験②	
18	木	中間試験③	
19	金	中間試験④, 健康診断日 ※10:30登校	
20	土	前期教育実習生受け入れ開始	
22	月	スポーツテスト(全日)/エアコンフィルター清掃日	
24	水	探究学習本講義(高2)	
31	水	大学入試結果報告会・学級PTA	